

内容説明書 (令和5年度)

| | | | | | |
|---|-----------------------------|------|---------|------------|----|
| 受付番号 | | 302 | 学校No. | | 11 |
| ふりがな | あいざわ さゆき | | 学校名 | 黒部市立生地小学校 | |
| 氏名 | 相澤 咲幸 | | 学年 | 3年 | |
| ふりがな | ぺっとぼとるをいれてもかたよらないおべんとうえこぼっぐ | | | | |
| 作品の名称 | ペットボトルを入れてもかたよらないおべんとうエコバッグ | | | | |
| (特徴) | | | | | |
| バッグに弁当とお茶を入れたときに、お茶の重みで弁当が傾いてしまうことがよくあります。このエコバッグは、その悩みを解消し、バッグに弁当とお茶を一緒に入れても中で弁当が傾かないように工夫したものです。 | | | | | |
| ペットボトル等を載せる布をバッグの中の上部に取り付けたことにより、ペットボトルが浮いたような状態で安定し、底部に置いた弁当も傾かなくなっています。また、弁当を出し入れする際に布を取り外せたり、使わないときにバッグの内側に取り付けた袋にバッグ自体を収納したりできる工夫もしてあります。 | | | | | |
| (使い方) | | | | | |
| ① 袋に収まったバッグを中から出して広げる。 | | | | | |
| ② 弁当をバッグの底に入れる。 | | | | | |
| ③ 布の片端をマジックテープで固定する。 | | | | | |
| ④ その布の上にペットボトルや水筒を置く。 | | | | | |
| ⑤ バッグを持ち運びする。使い終わったらバッグをたたんで袋にしまう。 | | | | | |
| 大きさ | (たて) | (よこ) | (高さ) | 重さ | |
| | 約 20 | × 25 | × 30 cm | 約 0.075 kg | |
| ◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。 | | | | | |
| ① () テレビ、科学雑誌、参考図書など | | | | | |
| ② () 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから | | | | | |
| ③ (○) 講師や先生、両親などからヒントをもらった | | | | | |
| ④ () 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から | | | | | |
| ⑤ () その他、自分で考えた | | | | | |

略図(鉛筆書きでもよい)又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。(※太枠内でご記入ください)

① バッグの底部には弁当を入れ、上部にはペットボトルや水筒を入れます。ペットボトル等が浮いたような状態になっているので、バランスが取れて安定します。



② バッグ自体を使わないときは、折りたたんでしまえるように内側に袋が付いています。



③ 「浮く」システム
バッグの中の上部に、ペットボトルや水筒を載せる布を取り付けてあります。その片端は縫い付けてありますが、もう一方の片端はマジックテープ式になっているので、必要なときに布を固定して使います。



④ ペットボトルや水筒を入れないときの状態です。



【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 従来のも(方法)と比べて、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点をわかりやすく、図または写真でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に一覧表を添えて、事務局へ提出して下さい。